

ガバナンス研究科 2024 年度教育課程連携協議会議事録

日 時：2024 年 2 月 4 日（火）18:00～19:30

場 所：アカデミーコモン 10 階 310C 教室及びオンライン（ZOOM）

出席者：【教育課程連携協議会委員】

湯淺墾道専任教授（1 号委員、ガバナンス研究科専任教授）：進行

土井裕之氏（2 号委員、元さいたま市議会議員）

柳沢香枝氏（2 号委員、元国際協力機構理事、元駐マラウィ特命全権大使）

成澤廣修氏（3 号委員、文京区長）

大森幹夫氏（3 号委員、千代田区教育担当部長）

真野毅氏（4 号委員、長野県立大学教授、前 兵庫県豊岡市副市長）：オンライン参加

【ガバナンス研究科研究科執行部】

長畠誠（ガバナンス研究科長・専任教授）

事務局：教務事務部専門職大学院事務室

議題：

1. ガバナンス研究科 2024 年度の概要（報告と質疑応答）
2. 20 周年を迎えることについて（意見交換）
3. ガバナンス研究科イギリッシュ・トラックについて（意見交換）
4. その他

配付資料：

資料 1 ガバナンス研究科 2024 年度の諸データ

資料 2 ガバナンス研究科の 2025 年度春入学入試までの志願者分析

資料 3 ガバナンス研究科 2024 年度在籍者分析

資料 4 ガバナンス研究科イギリッシュ・トラック在籍者一覧（回収資料）

*英語トラックの国際公共政策（International Public Policy）コースへの改称について

資料 5 ガバナンス研究科 日英科目対照表

資料 6 ガバナンス研究科 20 周年記念行事資料

資料 7 ガバナンス研究科創設 20 周年記念号の修了生インタビュー

議事録：

1. ガバナンス研究科 2024 年度の概要

長畠研究科長より、標記の件について、資料 1、2、3 に基づき、研究科の置かれている現状についての報告があり、以下の点について質疑応答と意見交換を行った。

- （1）ガバナンス研究科のポジショニングについて
- （2）地方自治体の議員や職員の能力向上につながる授業科目の設置について
- （3）日本国内の地方における課題への対応に関わる科目について
- （4）地方自治体のDX関係に対応する科目について

2. 20周年を迎える、これからのガバナンス研究科について

長畠研究科長より、標記の件について、主に資料 6 および 7 に基づき、将来方策についての説明があり、以下の点について質疑応答と意見交換を行った。

- (1) 学生を支援する体制について
- (2) 学生・修了生の横のつながりを強化することについて
- (3) 授業への参加に向けた動機付けについて

3. ガバナンス研究科英語トラックについて

長畠研究科長より、標記の件について、主に資料 4 および 5 に基づき、現状と今後についての説明があり、以下の点について質疑応答と意見交換を行った。

- (1) 国際公共政策コース独自のカリキュラム編成について
- (2) 多様な学生が入学するような広報活動について
- (3) 地方自治体のインバウンド施策と研究科の関係について
- (4) 日本語コースと英語コース双方の学生の交流について

4. その他

特になし。

以上